

篠田桃紅美術空間からの お知らせ

平成23年度展覧会スケジュール

篠田桃紅美術空間では、本年度も魅力的な美術館としてさまざまな活動をしていきます。展覧会では、墨を使って抽象画を描く作家として日本を代表する篠田桃紅の作品展示をはじめとして、地元関市で活躍する作家の作品を紹介します。10月には、昨年内で初めて人間国宝に選ばれた土屋順紀さんの展覧会を開催します。また、関連イベントとして、コンサート、作品鑑賞会、ワークショップなどを予定しています。

どの展覧会も必見です。この機会にぜひご来場ください。

◆「石原ミチオ56年の情景展 反抗の譜」

4月6日(水)～5月22日(日)

関市の前衛美術団体VAVAの結成メンバーであり、地元で制作を続ける石原ミチオの作品を紹介します。19歳の行動展入選から今年で56年を迎えた石原の画業を振り返り、岐阜現代美術館と当館の2会場にて初期作から近作までを展示します。



◆「傍島幹司 樹間」

5月27日(金)～7月18日(月・祝)

関市出身、在住の傍島幹司は、森や水テーマに作品を制作し続けています。近年はパリに滞在し、水彩画を制作しています。本展では、樹間をめぐるように森閑とした色彩溢れる傍島作品の世界を紹介します。

◆「ようこそ！桃紅さんの世界へ」

7月26日(火)～10月2日(日)

今年で3回目を迎える夏休みこども企画。今回は、ワークショップで

制作した子ども

の作品を、桃紅作品と並べて展示します。



◆「人間国宝 土屋順紀 紋紗―美濃を織る」

10月14日(金)～11月23日(水・祝)

代表作品とともに近作まで約15点を展示し、みずみずしい色系で繊細に織りなされた格調高い紋紗織を紹介いたします。

◆「篠田桃紅芸術月間2012」

12月9日(金)～平成24年3月27日(火)

展覧会をはじめ、コンサート、作品鑑賞会、ワークショップなど関連イベント満載の芸術月間です。

●開館時間：午前9時～午後4時30分

●照会先：篠田桃紅美術空間・事務局
(☎)7756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会

vol. 79

家事・育児への夫の参画は？

昨年12月12日に開催された関市男女共同参画市民フォーラムの際、来場された方々に「さんかくの木」を実らせていただきました。これは、りんごの実の形や葉っぱの形の紙に思い思いのメッセージを書いて、紙で作った木に貼り付けていくものです。

その中の1枚に「家事・育児への夫の参画は、私自身がまず参画してもらえるよう入口を開ける必要があると感じました」とありました。参画は相手と一緒に行動できたら最高です。それには、相手に自分の気持ちを告げる必要があります。

幼い赤ちゃんは言葉は話せませんが、泣くことで自分のしてほしいことを伝えます。それと同じように、私たちもしてほしいことを相手に伝え、お願いすることが参画への第一歩であり、入口の扉を開けることにつながると思います。言葉足らずでは「心」は伝わっていきません。気持ちを伝えて、手伝ってもらったら「ありがとう」「助かったわ」と一言、感謝の気持ちも忘れないで声かけをすることも大事です。

家事・育児で妻がイライラしている時、ちょっと夫が手伝ってくればどれだけ気持ちが和らいでくることでしょうか。妻も笑顔で家族に対応できて家庭が明るくなるのではないのでしょうか。

ちょっとしたお願いから扉を開け、お互いに助け合って自分らしい生き方で心安らぐ暖かい家庭を築いていきましょう。

さんかくサポーター<F>

<照会先>さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831

